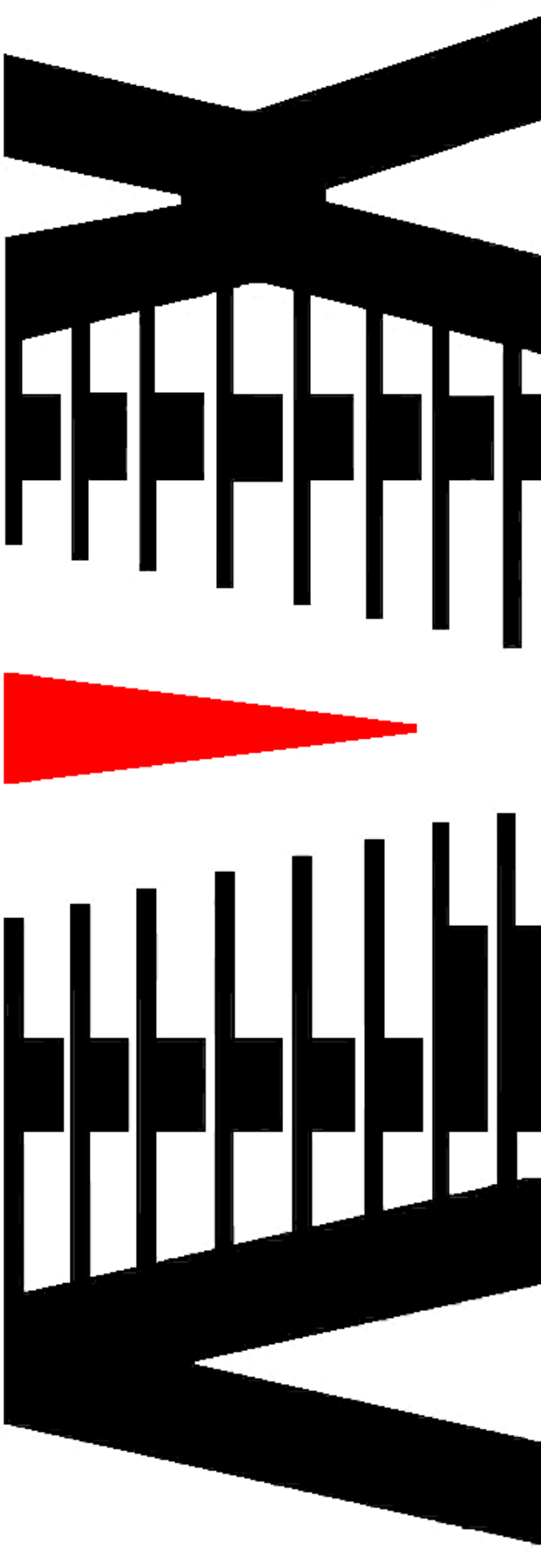
“アルビクス”マルチビューワ

MV−550

設定ソフト
取扱説明書

Rev.００



目　次

ページ

1. MV-550 各種用語説明 2
2. 設定ソフト機能概要 4
3. 設定手順 5
3.1 構成設定 7
3.2 構成設定方法 8
3.2.1 基板設定方法 9
3.2.2 出力モニタ設定方法 9
3.3 入力チャンネル名称・ロゴ設定 10
3.4 レイアウト・入力 MTX 設定 11
3.5 詳細設定 13
3.7 コメントパターン設定 14
3.8 入力コメントウィンドウ設定 15
3.9 出力コメントウィンドウ設定 17
3.10 プリセット登録 19
4. MV-550 との同期方法 20
4.1 MV-550 オンライン時における設定の同期方法 20
4.2 MV-550 オフライン時における設定の同期方法 20
5. MV-550 設定内部時刻設定 21
5.1 MV-550 時刻設定方法 21
6. 動作レイアウト切替 22
6.1 画面単位の動作レイアウト切替方法 22
6.2 プリセットによる動作レイアウト一括切替方法 23
6.3 任意の設定による動作レイアウト切替方法 24
入力 MTX の一括設定 24
6.4 入力 MTX の一括設定方法 25
7. レイアウト情報のエクスポート・インポート 26
7.1 エクスポート/インポート方法 26
8. 設定ウィザード 28
8.1 設定ウィザード起動方法 28
9. MV-550 機器状態確認 29
9.1 MV-550 機器状態確認方法 29
10. データ構造について 30
11. 出荷時設定について 31

1. MV-550各種用語説明

設定ソフトの取り扱い説明にあたり、MV-550 で使用される用語の説明を記載します。

画面（A～D）　・・・出力画面を表しています。画面 A は出力ユニットの出力１の画面を表しています。

レイアウト　・・・１出力画面毎に８個のレイアウトを保存出来ます。

プリセット　・・・全画面のレイアウトを一括設定する為、全画面のレイアウト番号により構成されたデータです。プリセットは８個保存出来ます。

プリセットとレイアウトの設定関係

		プリセット							
		1	2	3	4	5	6	7	8
画面	A	1	2	1	1	3	1	1	3
	B	1	2	2	2	2	2	1	3
	C	1	2	3	3	1	3	1	3
	D	1	2	1	4	4	4	1	3

子画面　　・・・　入力映像を表示する為のウィンドウ画面です。
画面 A に子画面が８個ある場合、A001 から A008 と表示されます。
１つの画面に何個子画面を表示するかの設定は画面子画面数設定となります。

入力　　・・・子画面に表示する映像は SDI 入力 1～48 のどれでも選択出来ます。（入力 MTX 機能）
子画面に表示する入力(1～48)の選択は入力 MTX 設定となります。
また、設定ソフトで入力(1～48)は上図のように「INPUT　NO」で表示されます。

入力コメントウィンドウ
・・・子画面に設定された入力（１～４８）に紐づいて表示するコメントウィンドウです。
子画面の入力・位置・サイズを変更すると変更に応じて入力コメントウィンドウの表示も変更されます。

出力コメントウィンドウ
・・・レイアウト毎に表示するコメントウィンドウです。

コメントパターン　　・・・入力・出力コメントウィンドウで表示する文字パターンです。
MV-５５０本体には１０００個のコメントパターンを登録することが可能です。
入力･出力コメントウィンドウは登録されているコメントパターンの中から文字を選択し表示します。

2. 設定ソフト機能概要

設定ソフトの機能概要を以下に記載します。

・モニタレイアウト設定
　出力モニタ数、配置に合わせて設定ソフトの画面イメージを配置します。

・レイアウト・入力 MTX 設定
　各画面のレイアウトを設定します。

・チャンネル名称・ロゴ設定
　入力（1～48）に対してチャンネル名称・ロゴを設定します。

・MV-550 内部時刻設定
　レイアウトに表示する MV 内部時刻設定の時計の表示時刻を設定します。

・動作レイアウト切替
　MV-550 とオンライン状態において、画面単位または全画面一括で動作レイアウトの
　切替を行います。

・プリセットの登録
　プリセットを 8 個登録出来ます。

・入力 MTX の一括設定
　複数の入力（1～48）を一括で設定します。

・レイアウト情報のエクスポート・インポート
　レイアウト情報を csv 形式でエクスポート、インポート出来ます。

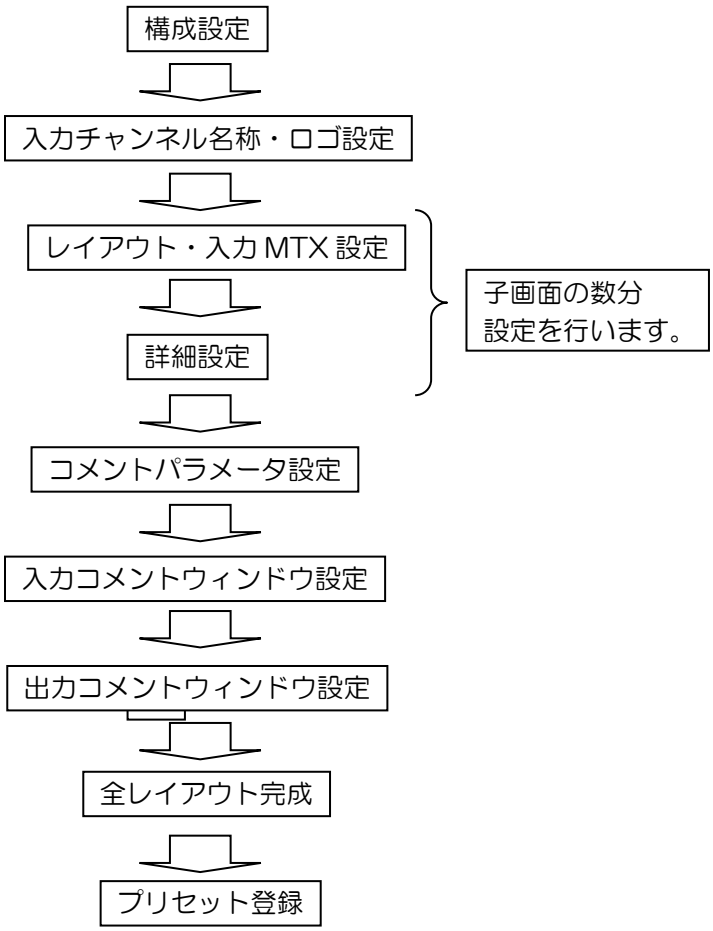
・MV-550 の状態確認
　MV-550 の機器状態を確認することが出来ます。

・設定ウィザード
　MV-550 の最低限、必要な設定を一連の流れで行います。

3. 設定手順

MV-550 設定ソフトによる設定手順について記載します。

MV-550 の設定手順として以下のように「構成設定」、「入力チャンネル名称・ロゴ設定」、「コメントパターン設定」、「レイアウト・入力 MTX 設定」、「詳細設定」、「コメントパターン設定」、「入力コメントウィンドウ設定」、「出力コメントウィンドウ」及び「プリセット登録」の順に設定します。



各設定内容の概要を以下に記載します。設定方法の詳細については以降に記載します。

「構成設定」

使用するモニタ数等の設定を行います。

「入力チャンネル名称・ロゴ設定」

入力（1～48）に対して、名称及びロゴの設定を行います。

「レイアウト・入力 MTX 設定」

画面のレイアウト設定を行います。同時に子画面の入力（1～48）を選択します。

「詳細設定」

子画面のレイアウト設定を行います。

「コメントパラメータ設定」

コメントパターンの設定を行います。

「入力コメントウィンドウ設定」

入力（１～４８）に紐づくコメントウィンドウのレイアウトの設定を行います。

「出力コメントウィンドウ設定」

レイアウト毎に表示するコメントウィンドウのレイアウトの設定を行います。

「プリセット登録」

全レイアウトの設定が完了後にプリセットの登録を行います。

3.1　構成設定

MV-550 のレイアウト設定において、最初に出力画面構成設定を行う必要があります。

出力画面構成の設定内容としては以下の項目があります。

・ 基板設定

→ MV-550 の基板構成を設定します。

この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-550 には何も設定されません。

MV-550 と基板構成が異なる場合、正常に動作しない可能性があります。

・ 出力モニタ設定

出力モニタの構成を設定します。設定内容は以下の通りです。

- モニタレイアウト設定

→ 出力モニタ数及びモニタの配置を設定します。

この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-550 には何も設定されません。

- 各画面の最大子画面数設定 ※

→ 各画面が表示する最大子画面数の設定を行います。

- 出力モニタのアスペクト設定

→ 各画面が表示されるモニタのアスペクト比の設定を行います。

この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-550 には何も設定されません。

MV−550 の出力モニタのアスペクト比の設定は出力ユニットの DVI 基板のロータリースイッチとディップスイッチにより行います。
（詳しくは MV-550 取扱説明書参照）

※「構成設定」により各画面の最大子画面数を変更した場合、「レイアウト・入力 MTX 設定」により全てのレイアウトの再設定が必要になります。

3.2　構成設定方法

構成設定は構成設定画面より行うことが出来ます。

構成設定画面は Top 画面のツールバーより表示します。

下記、設定を行なった後、「設定（保存）」ボタンを押下し、MV-550 へ設定します。

3.2.1　基板設定方法

手順1.　「基板設定」項目で設定を行います。

スケーラー基板、リア基板及び DVI 基板の構成を設定して下さい。

オンライン時には MV-550 の基板構成で表示されます。

3.2.2　出力モニタ設定方法

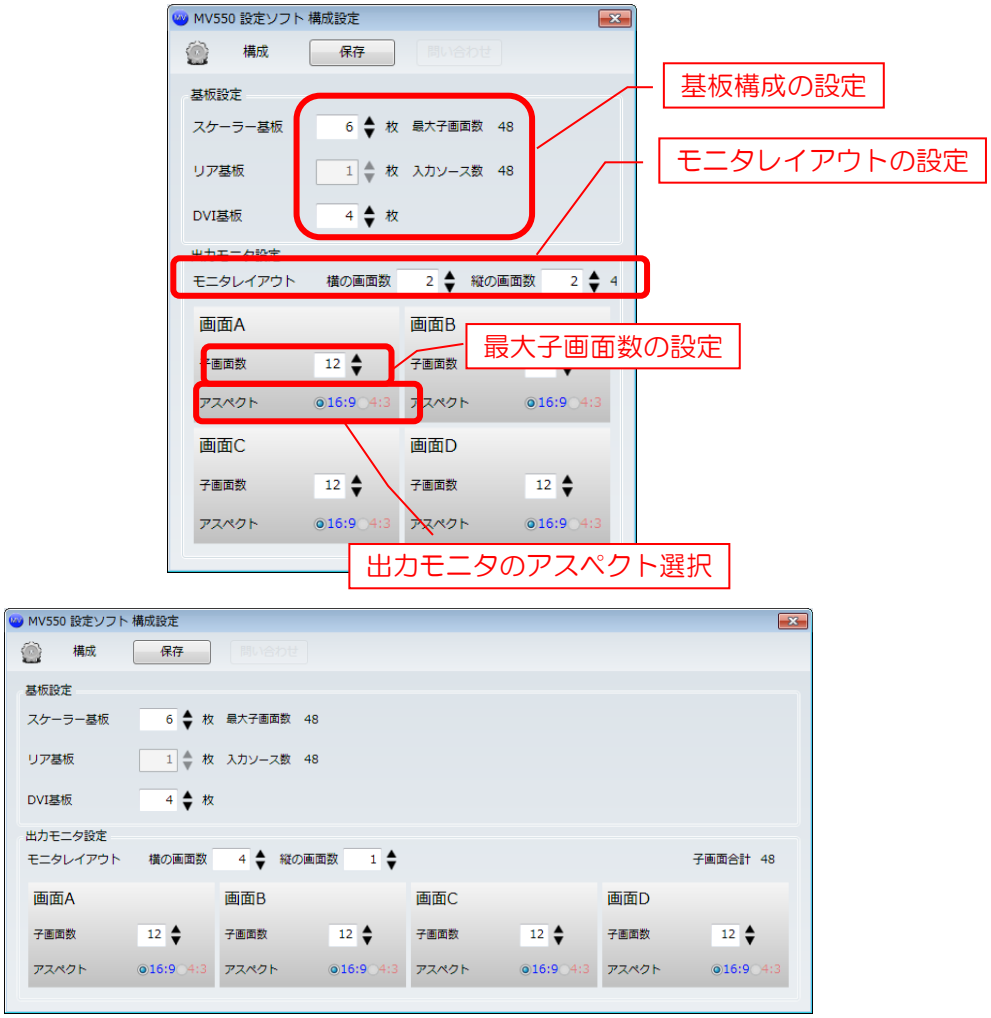
手順1.　「出力モニタ設定」項目で以下の設定を行います。

・モニタレイアウト設定

モニタレイアウトの設定により縦２×横２だけではなく、下図のように縦１×横４のようなモニタレイアウトが可能です。

・各画面の最大子画面数設定

・出力モニタのアスペクト選択



縦 1×横 4 のモニタレイアウト設定

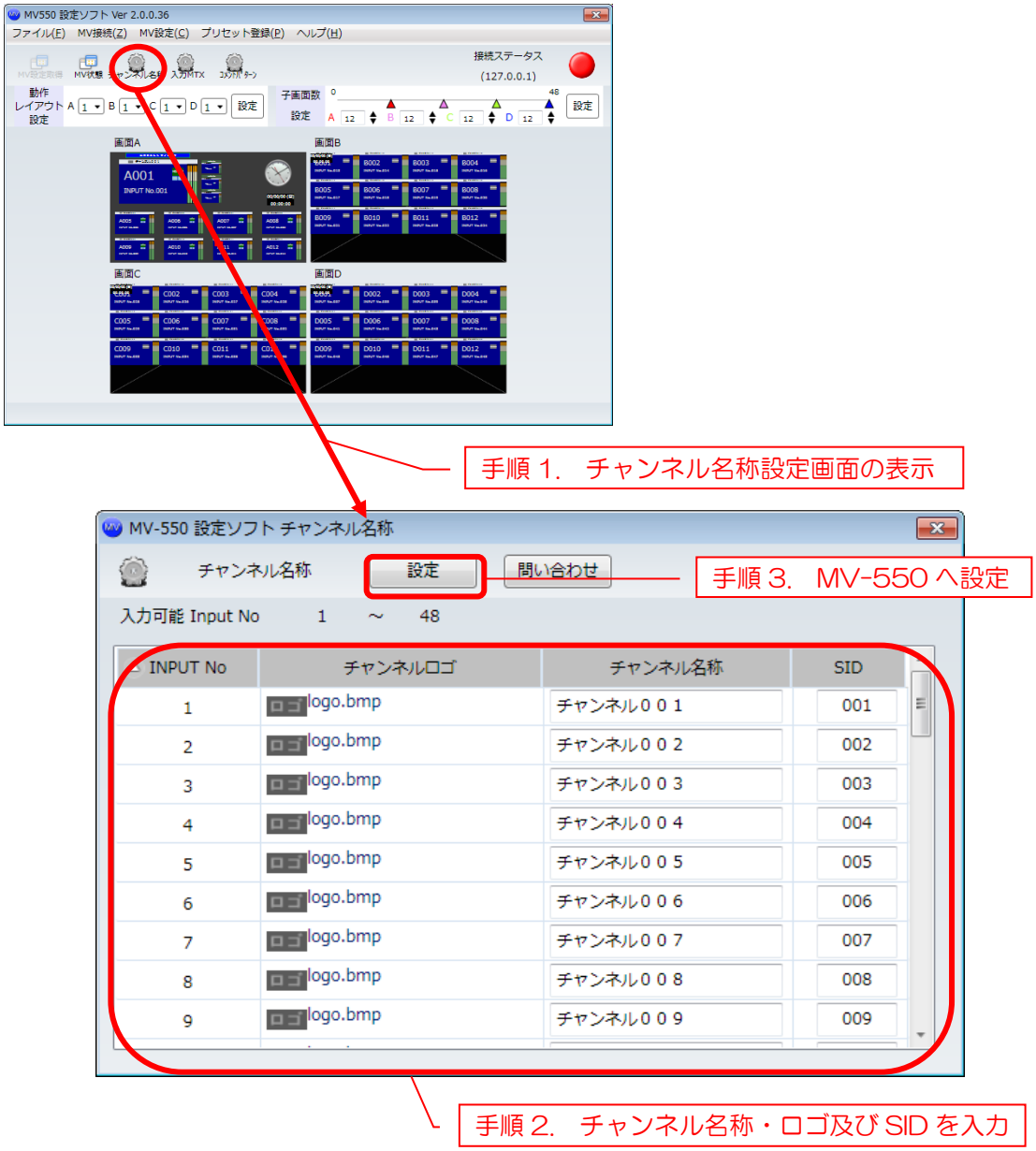
3.3　入力チャンネル名称・ロゴ設定

下記手順により入力（1～48）に対して、チャンネル名称・ロゴの設定を行います。

手順1.　Top 画面のツールバーよりチャンネル名称設定画面を表示します。

手順2.　リストの「ロゴ」「チャンネル名称」「SID」項目にそれぞれチャンネルロゴ、チャンネル名称、サービス ID を入力します。
（チャンネルロゴはイメージをクリックすると画像選択ダイアログが表示されます。）

手順3.　「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-550 への設定を行います。



3.4 レイアウト・入力 MTX 設定

下記手順により各画面のレイアウト及び入力 MTX 設定を行います。

手順1. Top 画面の画面選択画面で設定対象の画面をクリックし、レイアウト画面を表示します。

手順2. ツールバーの「レイアウト」により、設定対象のレイアウト番号を選択します。

手順3. 「画面固定」項目により、レイアウトの固定を解除します。

手順4. 下記操作により、子画面、時計、出力コメントウィンドウ及び背景の設定を行います。

【子画面】

対象の子画面イメージのドラッグ、矢印キー又はコンテキストメニューにより設定を行います。

【時計】

ツールバーの「アナログ時計」「デジタル時計」項目、時計イメージのドラッグ又はコンテキストメニューにより設定を行います。

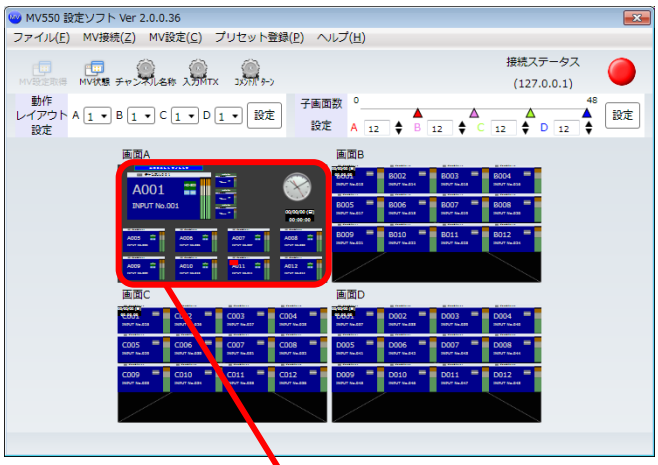
【出力コメントウィンドウ】

ツールバー、コメントウィンドウイメージのダブルクリック、ドラッグ又はコンテキストメニューにより設定を行います。

【背景】

ツールバーの「背景」項目により表示 ON/OFF、画像の選択を行います。

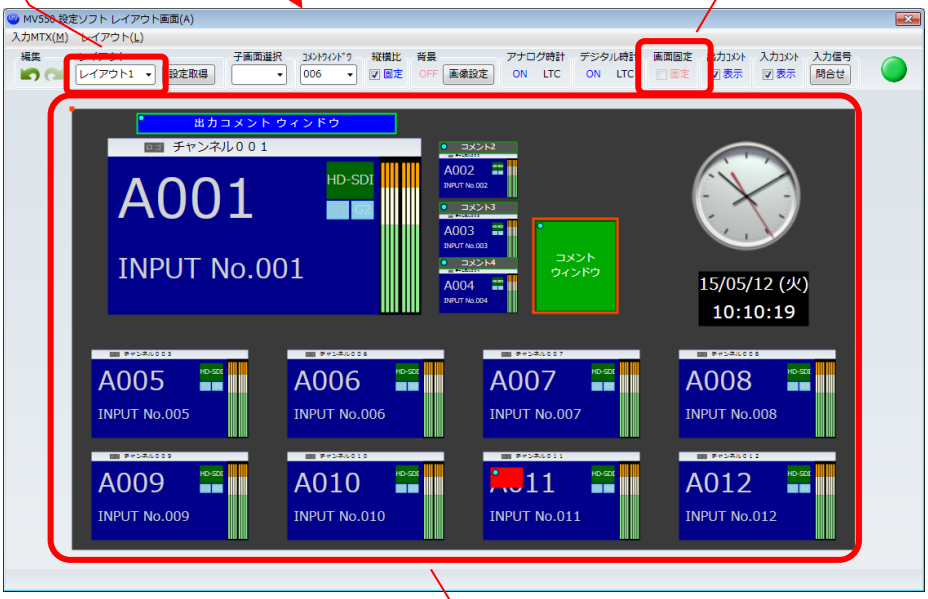
※ レイアウト画面では、設定が変更された時点で MV-550 に反映又は設定ソフトへ保存が行われます。



手順 1.　レイアウト画面の表示

手順 2.　レイアウト番号の選択

手順 3.　レイアウト固定の解除



手順 4.　レイアウト及び入力 MTX の設定

3.5　詳細設定

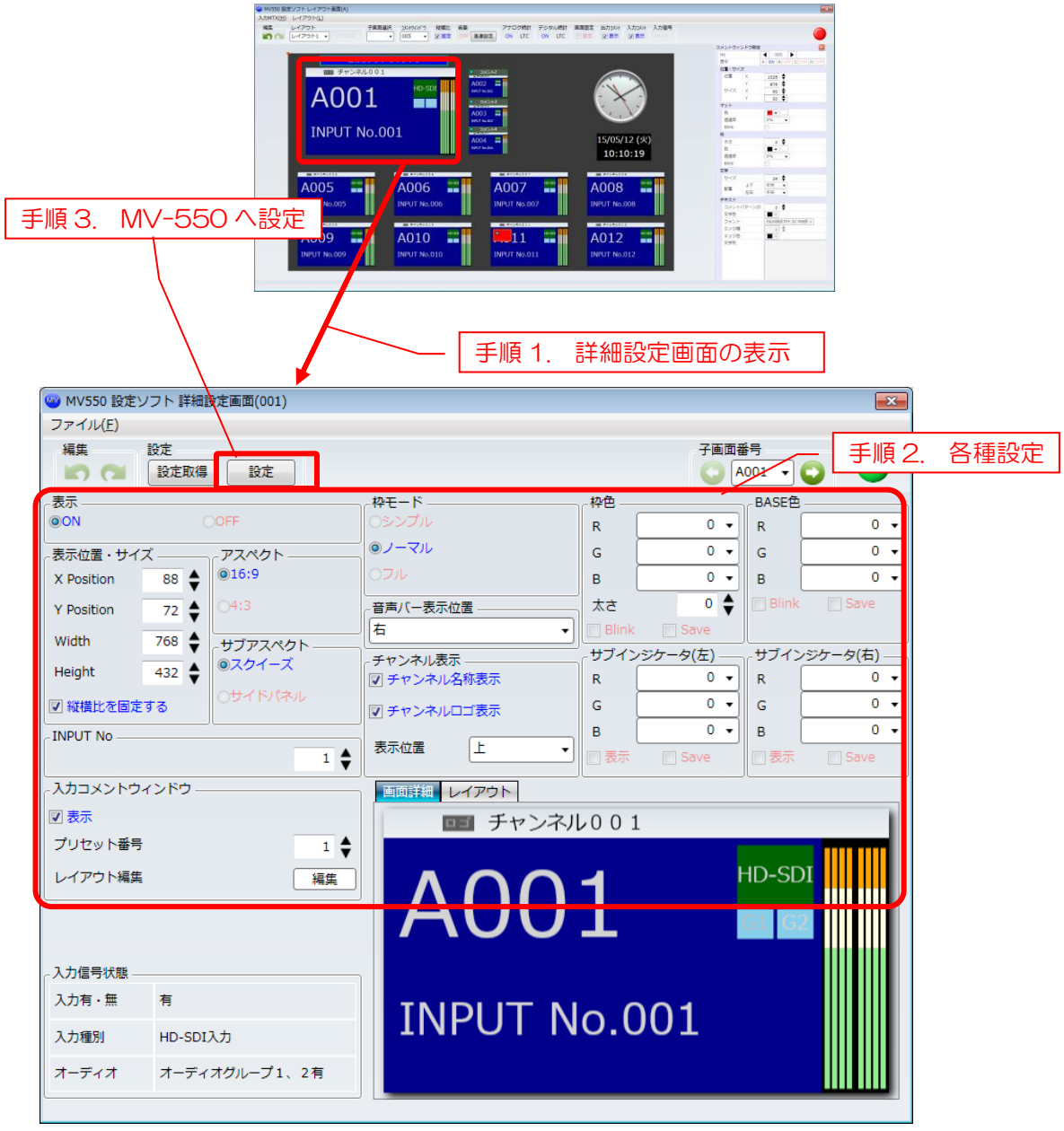
下記手順により子画面のレイアウトの設定を行います。

手順1.　レイアウト画面より設定対象の子画面イメージをダブルクリックし、詳細設定画面を表示します。

手順2.　各種設定を行います。

手順3.　「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-550 への設定を行います。

※　詳細設定画面では「設定(保存)」ボタンを押下するまで、MV-550 への反映又は設定ソフトへの保存は行われません。

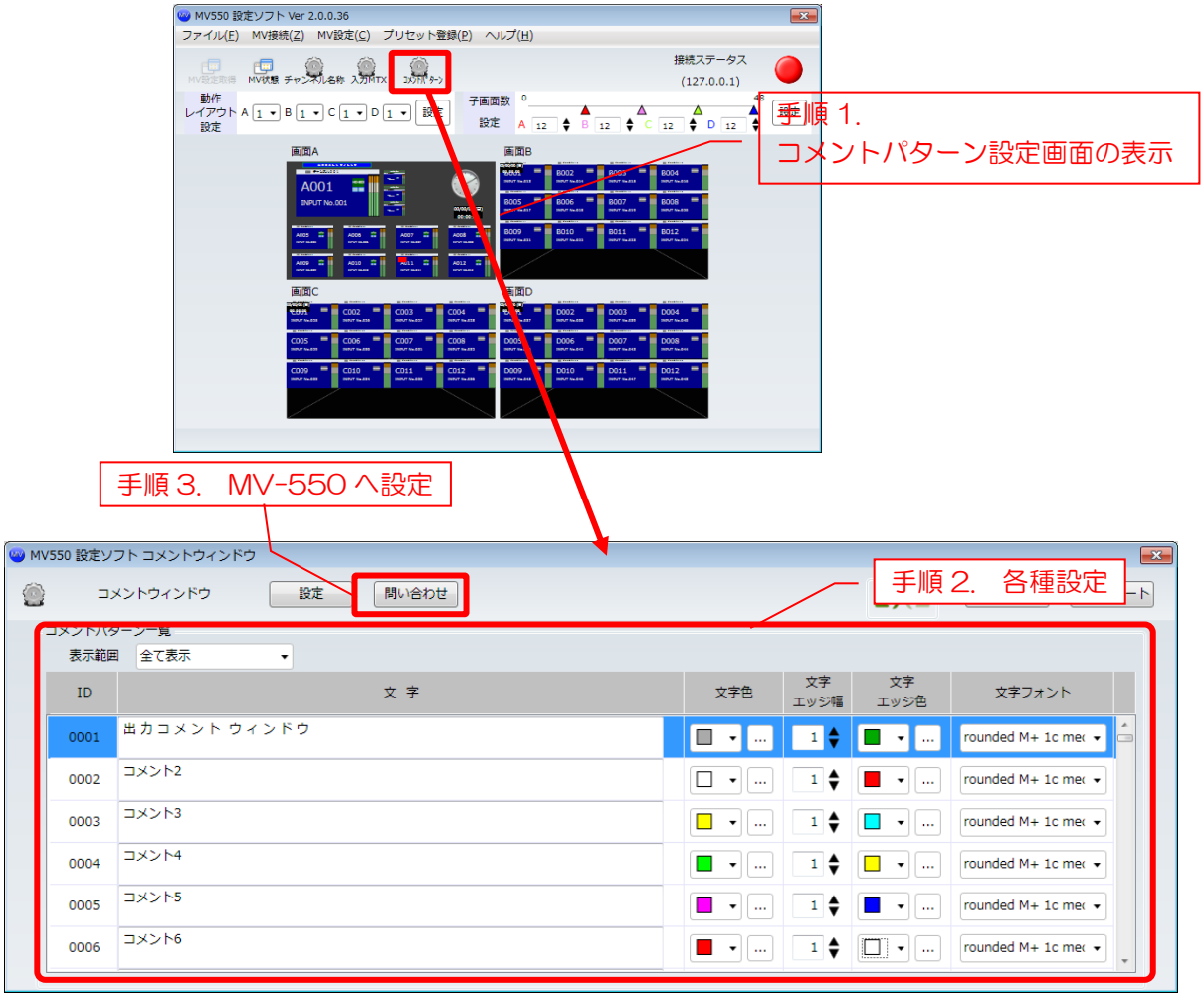


3.7　コメントパターン設定

下記手順によりコメントウィンドウのコメントパターンの設定を行います。
手順1.　Top 画面のツールバーよりコメントパターン設定画面を表示します。
手順2.　リストの各コメントパターンに設定を行います。

手順3.「設定(保存)」ボタンを押下し、設定します。

※　コメントパターン設定画面では「設定(保存)」ボタンを押下するまで、MV-550 への反映又は設定ソフトへの保存は行われません。



3.8　入力コメントウィンドウ設定

下記手順により入力コメントウィンドウの設定を行います。

手順1.　下図の様に詳細画面の入力コメントウィンドウ項目又はレイアウト画面のレイアウトから入力コメントウィンドウ設定画面を表示します。

手順2.　ツールバーの「Input No」「プリセット」より、設定対象の Input No、プリセット番号を選択します。

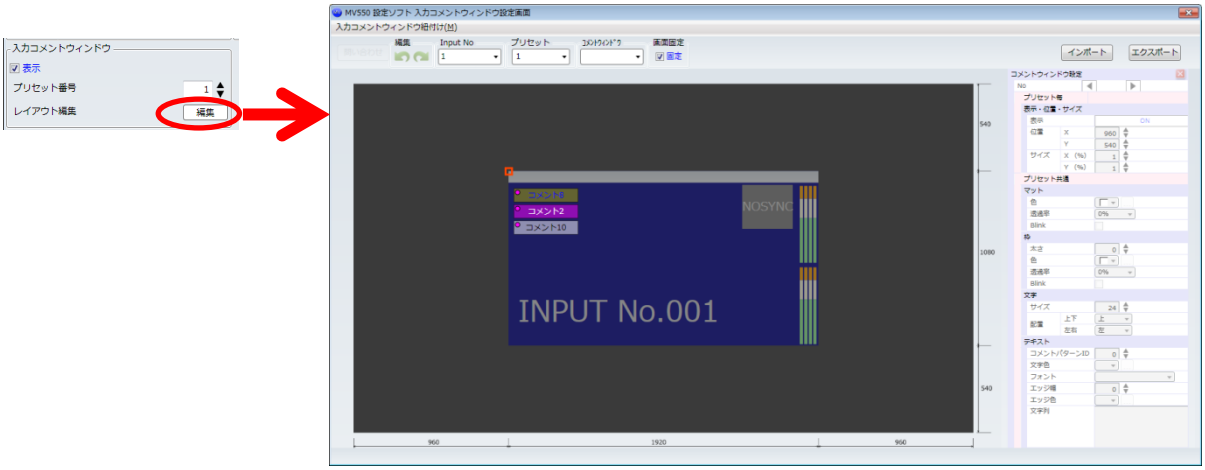
手順3.　「画面固定」項目により、レイアウトの固定を解除します。

手順4.　入力コメントウィンドウのレイアウトを設定します。

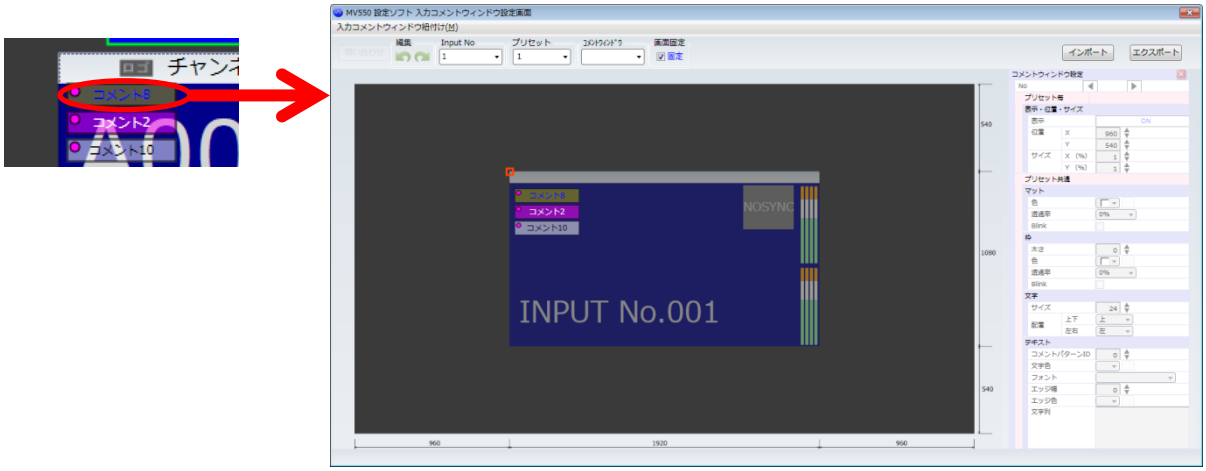
設定方法はコメントウィンドウイメージのマウスドラッグ又は画面右の入力コメントウィンドウの設定画面より行います。

設定が変更された時点で MV-550 に反映又は設定ソフトへ保存が行われます。

詳細設定画面の入力コメントウィンドウ項目より表示

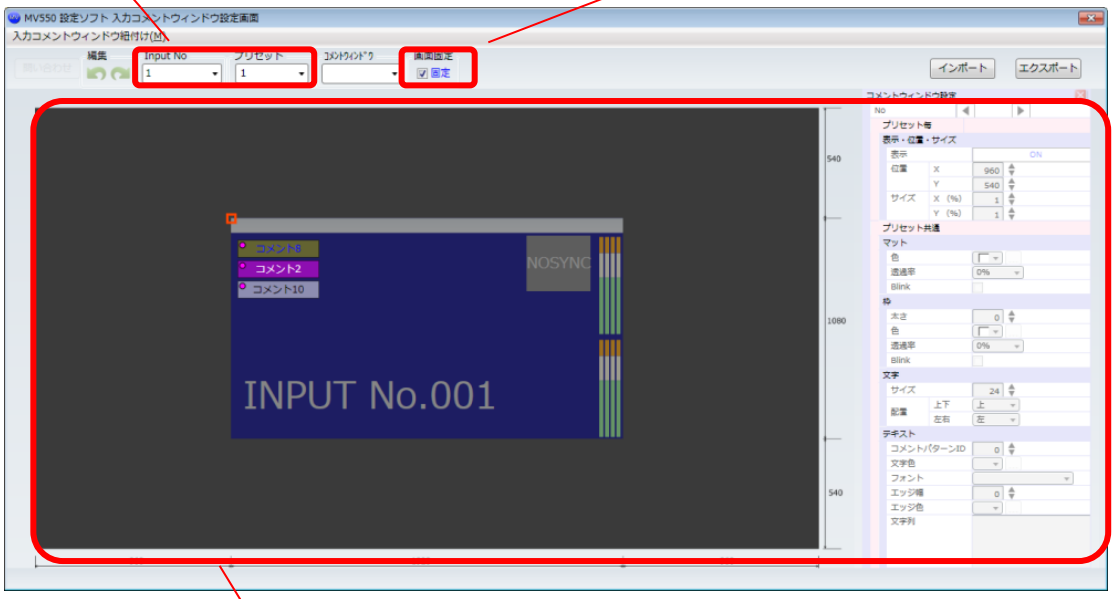


レイアウト画面の入力コメントウィンドウをダブルクリックにより表示



手順 2.　Input No、プリセット番号の選択

手順 3.　レイアウト固定の解除



手順 4.　レイアウトの設定

3.9 出力コメントウィンドウ設定

下記手順により出力コメントウィンドウの設定を行います。

[コメントウィンドウ設定画面より設定]

手順1. 下図の様にレイアウト画面のツールバーからコメントウィンドウ設定画面を表示します。

手順2. リストの各コメントウィンドウに設定を行います。

コメントパターンには選択されているコメントウィンドウに紐づいているコメントパターンが表示され、設定を行えます。

手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、設定します。

※ コメントウィンドウ設定画面では「設定(保存)」ボタンを押下するまで、MV-550 への反映又は設定ソフトへの保存は行われません。

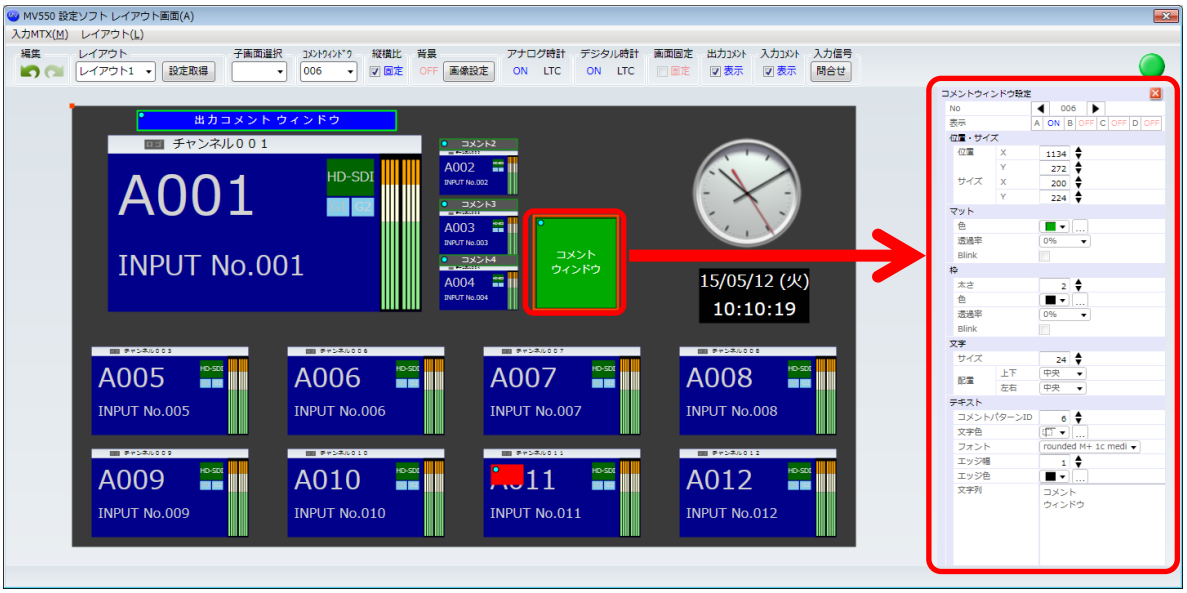
［レイアウト設定画面より設定］

手順1.　下図の様にレイアウト画面の出力コメントウィンドウを選択し、レイアウト画面の右側に選択された出力コメントウィンドウの設定画面を表示します。

手順2.　各パラメータの設定を行います。

設定方法はコメントウィンドウイメージのマウスドラッグ又は出力コメントウィンドウの設定画面より行います。

本体への設定はパラメータを変更する度行われます。



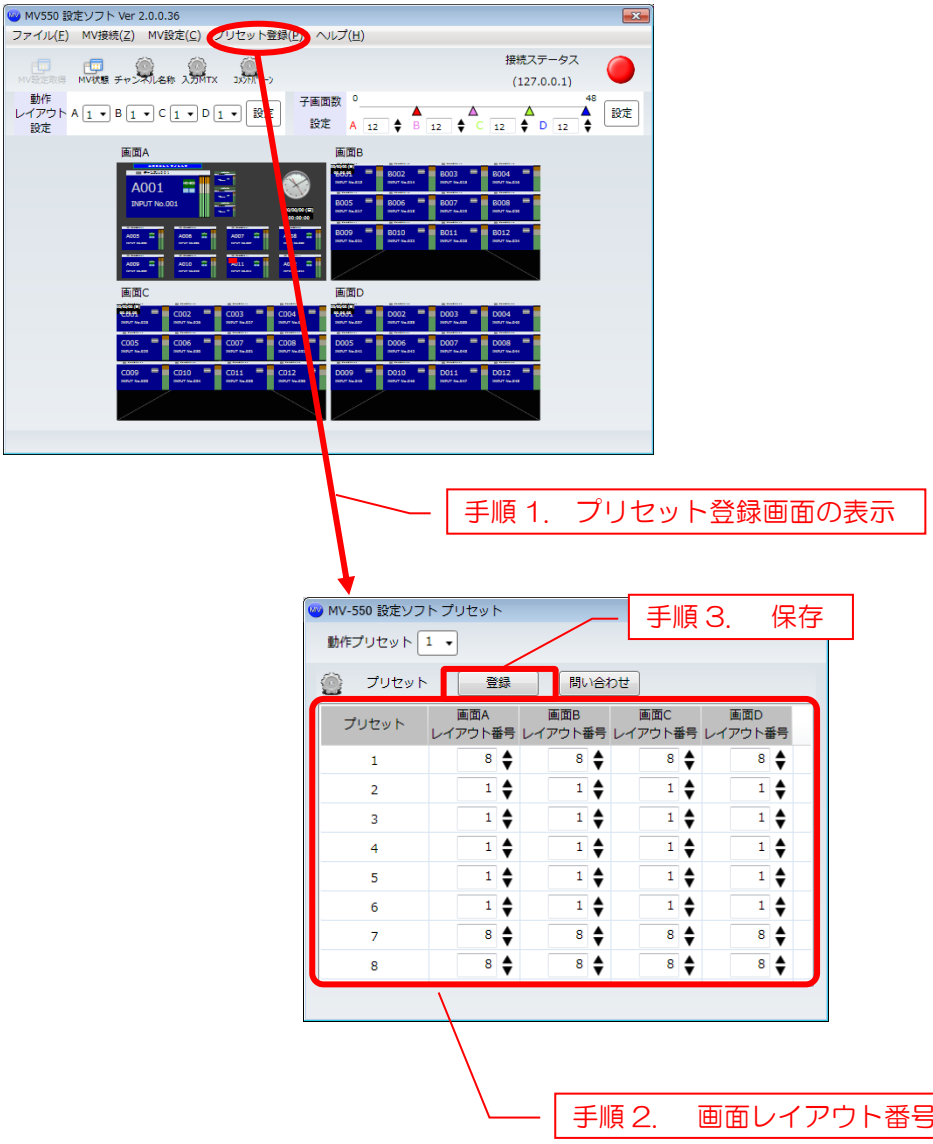
3.10プリセット登録

下記手順によりプリセットの登録・切替を行います。

手順1.　Top 画面のツールバーよりプリセット登録画面を表示します。

手順2.　リストの各プリセットの画面レイアウト番号を入力します。

手順3.　「登録」ボタンを押下し、保存します。



4. MV-550との同期方法

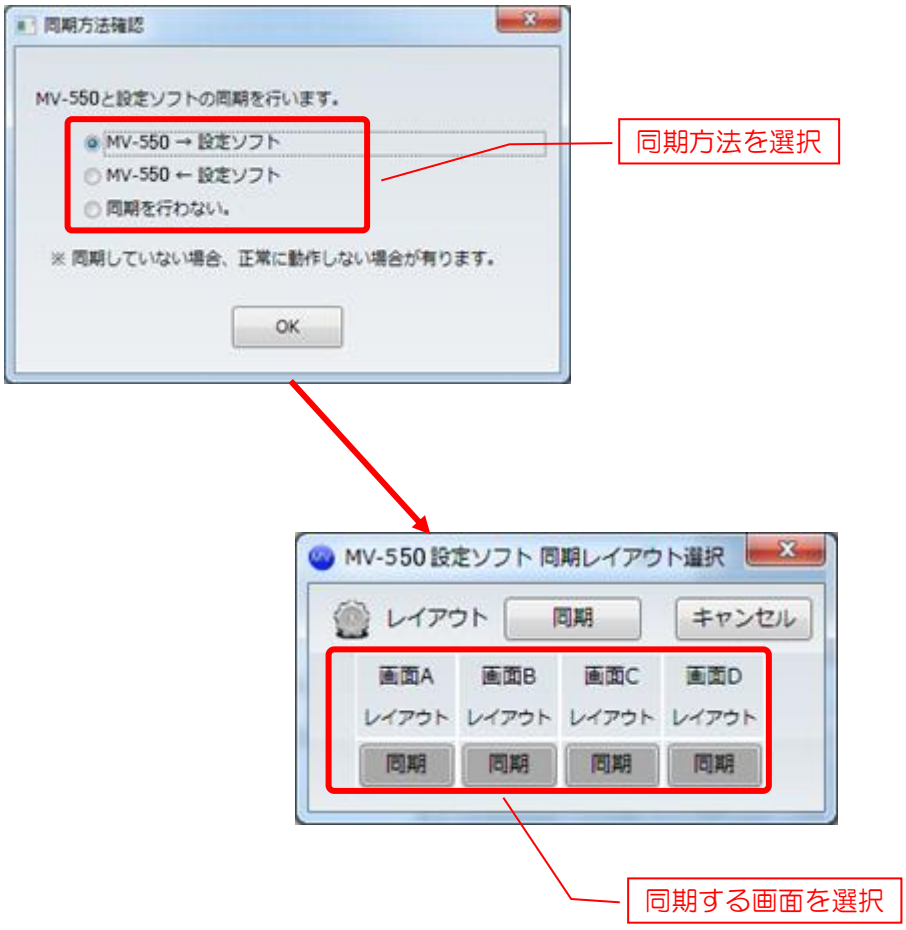
4.1　MV-550 オンライン時における設定の同期方法

MV-550 とオンラインで設定した内容は設定ソフトに保存され、随時 MV-550 と設定され、同期が保たれます。

4.2　MV-550 オフライン時における設定の同期方法

MV-550 とオフラインで設定した内容は設定ソフトに保存されます。

MV-550 へは接続時に表示される下記メッセージで同期方法を選び、MV-550 と同期して下さい。



5. MV-550設定内部時刻設定

5.1　MV-550 時刻設定方法

手順1.　Top 画面のツールバーの「MV 設定(C)」→「時刻設定(T)」により設定を行います。

設定ツールが起動しているパソコンの時刻が設定されます。

6. 動作レイアウト切替

6.1　画面単位の動作レイアウト切替方法

画面単位で動作レイアウトの切替が出来ます。切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面よりレイアウト画面を表示します。
（レイアウト画面の表示方法は「3.4 レイアウト・入力 MTX 設定」を参照下さい。）

手順2. 「レイアウト」項目のコンボボックスよりレイアウトを選択することにより、
動作レイアウトが切り替わります。

6.2　プリセットによる動作レイアウト一括切替方法

「3.6 プリセット登録」により登録されたプリセットにより、動作レイアウトの一括切替が出来ます。

切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面よりプリセット登録画面を表示します。
（プリセット登録画面の表示方法は「3.6 プリセット登録」を参照下さい。）

手順2.「動作プリセット」項目のコンボボックスより動作レイアウトを選択することにより、動作レイアウトが切り替わります。

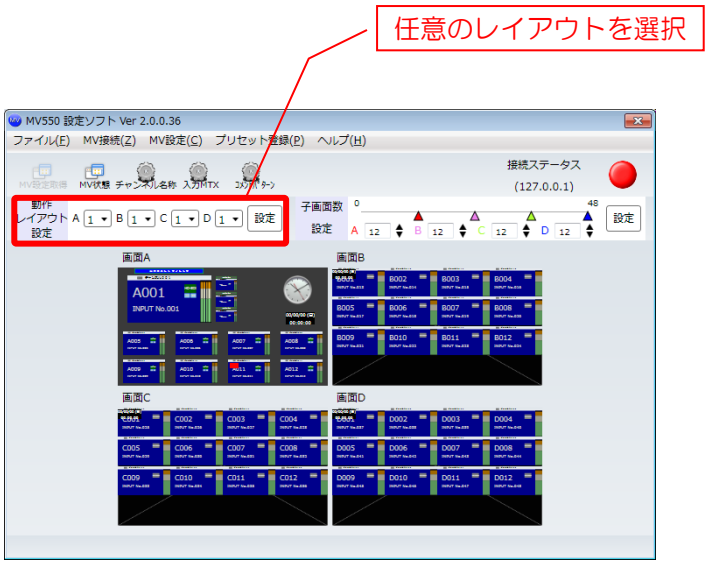
6.3　任意の設定による動作レイアウト切替方法

任意のレイアウトの組み合わせの動作レイアウトの一括切替が出来ます。

切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面の「動作レイアウト設定」項目で任意のレイアウトを選択します。

手順2. 「設定ボタン」押下により動作レイアウトが切り替わります。



入力MTXの一括設定

6.4　入力 MTX の一括設定方法

下記手順により、入力 MTX の一括設定が行えます。

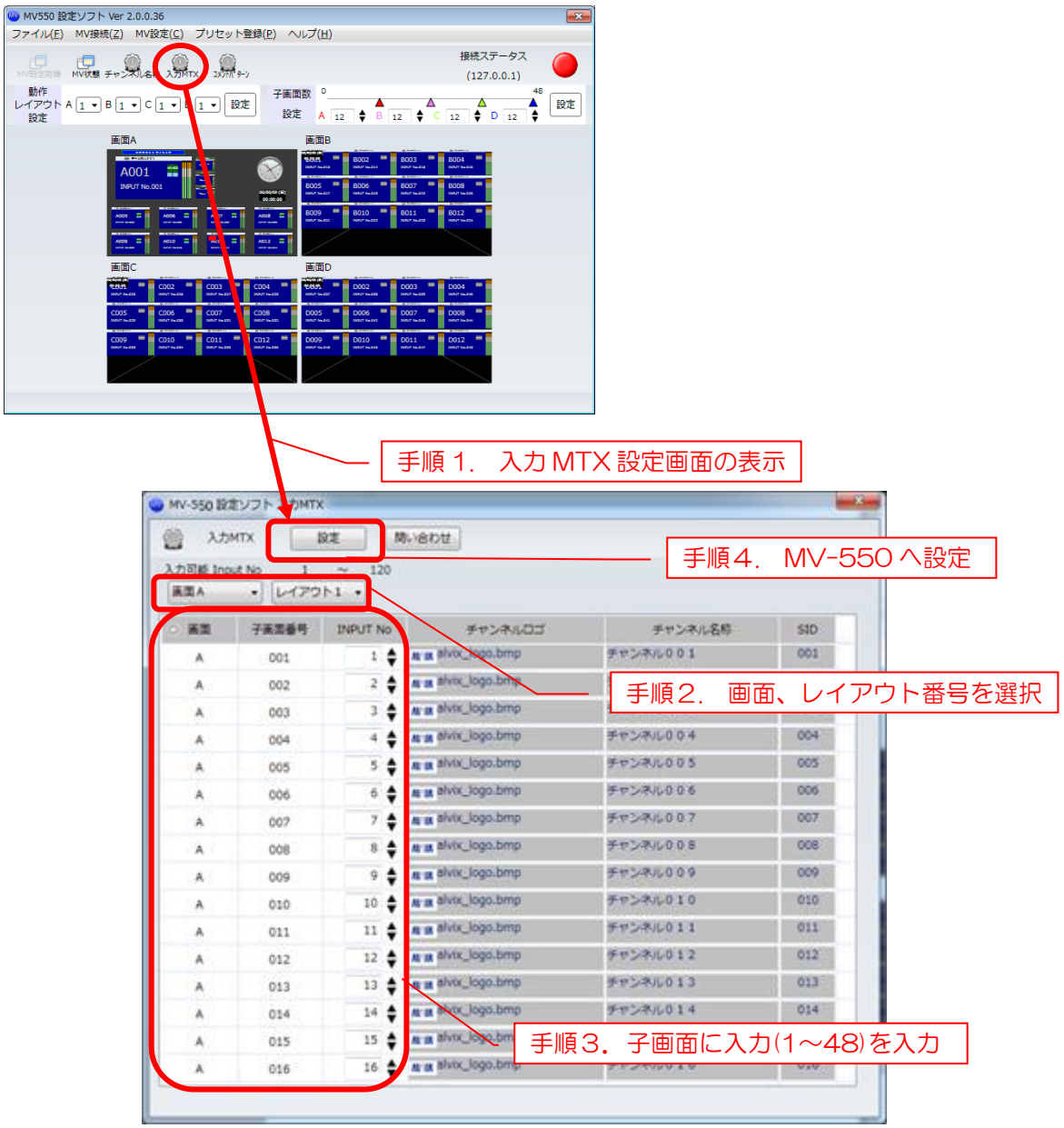
手順 1．Top 画面の入力 MTX のアイコンをクリックし、入力 MTX 設定画面を表示します。

手順 2．入力 MTX 設定画面の左上のコンボボックスより画面とレイアウトを設定します。

手順 3．リストにより設定対象となる子画面の入力(1～48)を入力します。

手順 4．設定する子画面分、手順 2、3 を繰り返します。

手順 5．「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-550 へ設定します。



7. レイアウト情報のエクスポート・インポート

設定ソフトで設定したレイアウト情報を csv 形式のファイルにエクスポートすることが出来ます。

また、csv 形式のファイルをインポートすることが出来ます。

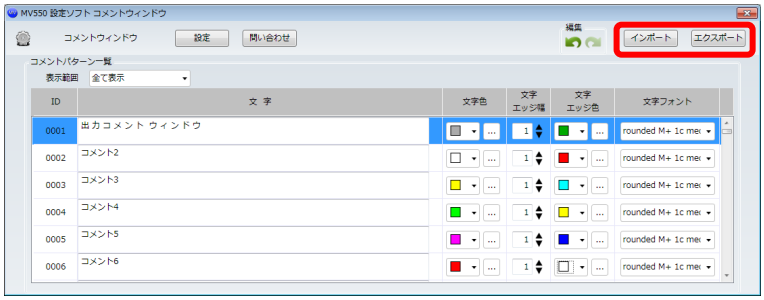
7.1　エクスポート/インポート方法

手順1.　Top 画面のツールバーの「ファイル（F）」→「エクスポート」または「インポート」より行います。

コメントパターン、入力コメントウィンドウ、出力コメントウィンドウについては各設定画面上でもエクスポート/インポートが可能です。

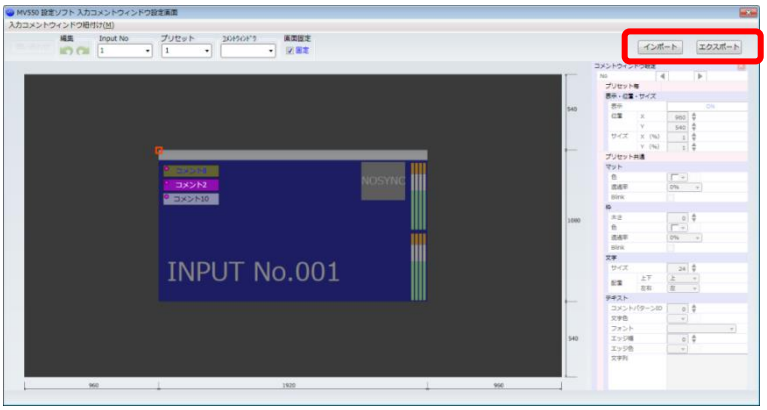
7.1.1　コメントパターン エクスポート/インポート方法

手順1.　コメントパターン設定画面（画面表示方法は「3.7 コメントパターン設定」参照）の右上にある「エクスポート」、「インポート」ボタンにより行います。



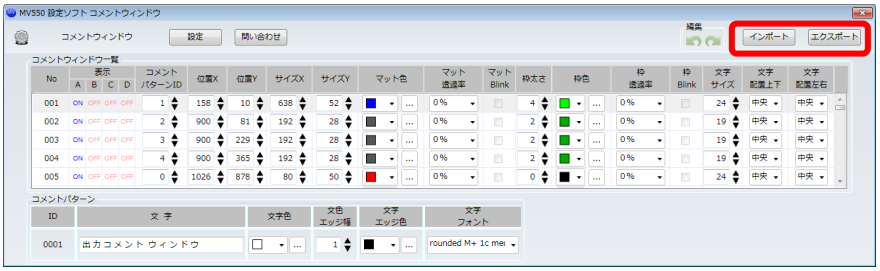
7.1.2　入力コメントウィンドウ エクスポート/インポート方法

手順1.　入力コメントウィンドウ設定画面（画面表示方法は「3.8 入力コメントウィンドウ設定」参照）の右上にある「エクスポート」、「インポート」ボタンにより行います。



7.1.3　出力コメントウィンドウ エクスポート/インポート方法

手順2.　出力コメントウィンドウ設定画面（画面表示方法は「3.9 出力コメントウィンドウ設定」参照）の右上にある「エクスポート」、「インポート」ボタンにより行います。

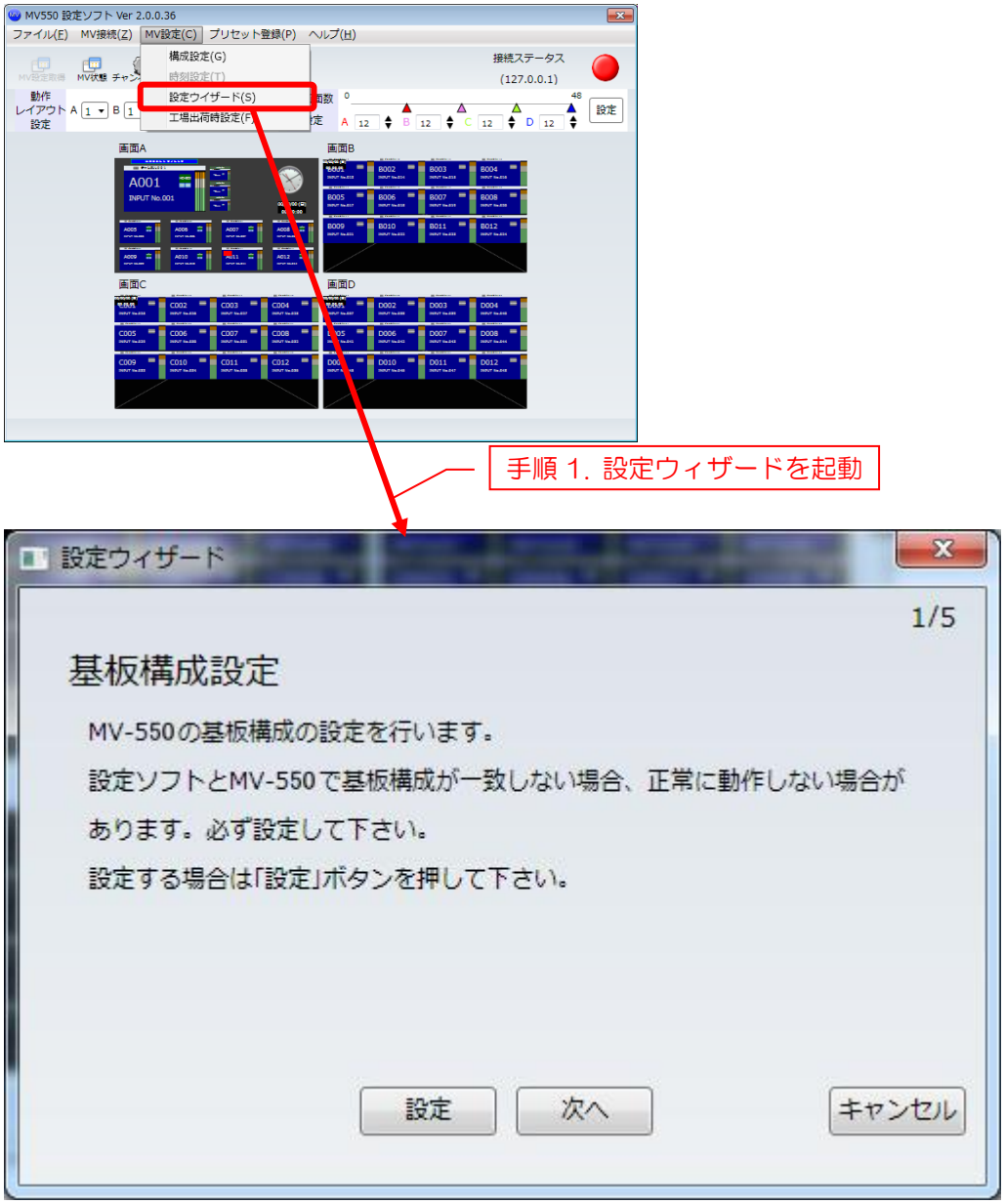


8. 設定ウィザード

8.1　設定ウィザード起動方法

手順1.　Top 画面のツールバーの「MV 設定（C）」→「設定ウィザード（S）」より設定ウィザードが起動します。

メッセージに沿って、設定を行なってください。



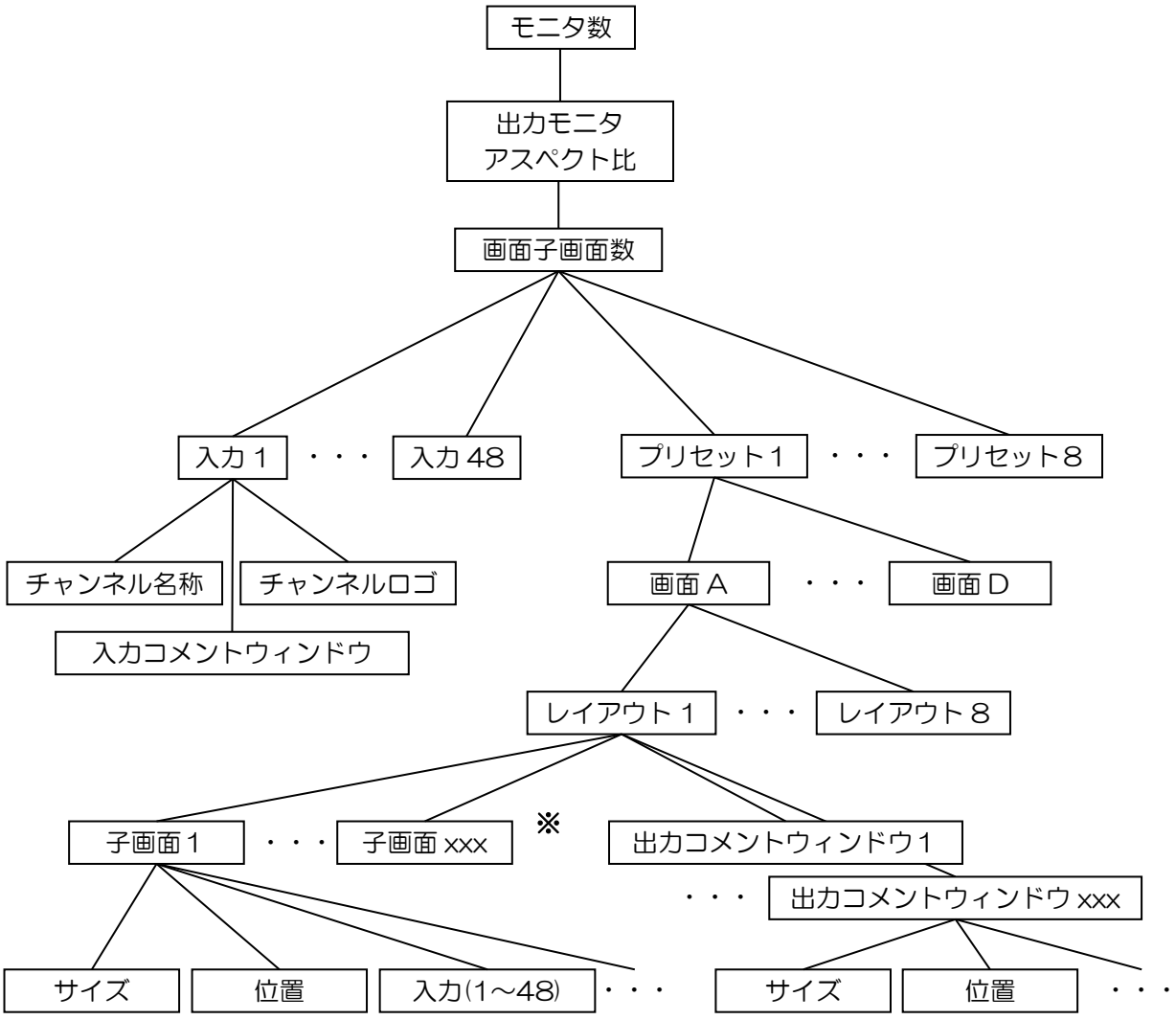
9. MV-550 機器状態確認

9.1 MV-550 機器状態確認方法

手順1.　Top 画面の「MV 状態」アイコンより MV 状態画面が表示し、機器状態を確認することが出来ます。

10. データ構造について

MV-550 の設定データの構造について以下に記載します。



※ レイアウトの子画面数は画面子画面数設定で設定された数になります。

11. 出荷時設定について

工場出荷時の設定内容は以下の通りです。

・ モニタ数
　　モニタ数 ： 基板構成により設定内容が異なります。

・ 出力モニタアスペクト比 【全画面共通】
　　出力モニタアスペクト比 ： 16：9

・ プリセット【全プリセット共通】
　　プリセット構成 ： 画面 A～D = レイアウト 1

・ 画面子画面数 【全画面共通】
　　子画面数 ： 基板構成により設定内容が異なります。

・ 画面レイアウト 【全レイアウト共通】
　　子画面の位置、サイズ ： 基板構成により設定内容が異なります。
　　時計表示 ： アナログ時計表示=OFF
　　デジタル時計表示=ON
　　コメントウィンドウ（1～144）表示 ： OFF
　　背景表示 ： ON（haikeix.png(x=レイアウト No)）

・ 子画面レイアウト 【全子画面共通】
　　表示 ： ON
　　アスペクト ： 16：9
　　サブアスペクト ： スクィーズ
　　音声バー表示位置 ： 右
　　枠モード ： ノーマルモード
　　チャンネル名称表示 ： ON
　　チャンネルロゴ表示 ： ON

・ 入力 MTX 設定 【全レイアウト共通】
　　画面 A 子画面 1 ＝ 入力番号 1
　　～
　　画面 D 子画面 12 ＝ 入力番号 48

・ チャンネル名称 【全入力共通】
　　入力番号 1 ＝「チャンネル 01」
　　～
　　入力番号 48 ＝「チャンネル 48」

・ チャンネルロゴ 【全入力共通】
　　ロゴ

・ 出力コメントウィンドウ 【全コメントウィンドウ共通】
　　表示 ： OFF

・ 入力コメントウィンドウ 【全コメントウィンドウ共通】
　　表示 ： OFF

・　コメントパターン　【全パターン共通】

コメントパターンID１　　文字 ＝「コメント1」

～

コメントパターンID 1000　　文字 ＝「コメント１０００」

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

ア ル ビ ク ス 株 式 会 社
〒959−0214
新潟県燕市吉田法花堂１９７４−１
ＴＥＬ：０２５６−９３−５０３５
ＦＡＸ：０２５６−９３−５０３８